

令和6年度 板橋区立志村第二中学校 授業改善推進プラン

教科名

国語

	学力調査・体力調査・定期考査等の分析	指導方法の課題	授業革新に向けての具体的な手立て
7 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・説明的文章においては筆者の主張を探し、自分の意見とともに200字程度に簡潔にまとめることに課題がある。 ・語彙や文法の基礎学力に関しては、漢字の書き取りに苦手意識がある。 ・平仮名やカタカナを含めた文字を正確に書字することが苦手な生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書いてまとめる」が作業にならないように、生徒同士の発表などを入れて指導にあたる。 ・語彙力の向上を目指し、辞書引きをしたり、漢字の書き取り練習を行う。 ・毛筆だけではなく、硬筆書写の時間を確保し、正確な文字表記を覚える基礎基本の時間をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を簡潔にまとめる練習や要約文の作成練習を繰り返す。 ・定期的に辞書で言葉の意味を調べて例文を作ったり、漢字の書き取り練習の時間を設けたりする。 ・漢字の成り立ちから字形を考えたり、50音図などから古文の歴史的仮名遣いに繋げたりするなど、他の学習に関連することを指導する。
8 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・説明的文章においては筆者の主張を読み取って要約はできるが、抽象的表現の説明に課題がある。 ・文学的文章では登場人物の心情が表れている一文を探すことはできるが、伏線となる部分を探し文脈を読み取ることに課題がある。 ・詩や短歌など少ない文字数から作者の心情や情景を想像し、的確に表現することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力を定着化させ、さまざまな言葉で表現できるようにする。 ・文章中の一つ一つの言葉に丁寧にアプローチして、つながりのある場面を抑えるようにする。 ・1つの言葉から関連する言葉や情景を連想させたり作者を調べたりして、そこで得た知識と作品を重ねて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙調べと例文作成を行い、言語量を増したり表現力を向上させたりする。 ・繰り返し出てくる単語や表現に注目させてチェックする。 ・語彙調べと作者についての情報を書籍やインターネットを用いて、調べてまとめる。
9 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・説明的文章においては、作者の主張を読み取って要約にまとめることができる。抽象的文章の説明に課題がある。 ・詩や俳句などの行間を読んで作者が表現したことを説明することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力の向上と文脈の前後を正しく読み取れるようにする必要がある。 ・語彙力をさらに向上させて表現力を豊かにすることと、作品に出てくる一つ一つの言葉にもっと注目する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙調べを引き続き行う。段落と段落の関係性や文と文との関係性を接続詞に注目しながら文章を読み取るようにする。 ・語彙調べを引き続く行う。言葉の一つ一つに注目してそれぞれの言葉の共通性を探し

			<p>ながら、作品に表現されている情景を想像して説明できるようにする。</p>
--	--	--	---